

本セミナーの位置づけについて

【内容】

1. 本セミナーの位置づけについて
2. テーマ「地域の社会資源を知ろう」を選んだ背景・理由について

埼玉県立大学大学院／研究開発センター 川越雅弘

Kawagoe-masahiro@spu.ac.jp

1. 本セミナーの位置づけについて

地域包括ケアに関わる人材育成のための手法

－集合型研修（Off-JT）と現場での直接支援（OJT）を通じた人材育成－

①集合型研修

研究開発センター シンポジウム（2016～）

【目的】国の施策の動向や方向性、
基本的考え方などを学ぶ

【2020実績】2021/2～WEB公開
テーマ「地域のつながりの再構築を目指して」

<講演者・シンポジスト>

- 笹子宗一
（厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課課長）
- 佐藤匡史
（日本こどもの居場所ネットワーク埼玉支部事務局／川口子ども食堂代表）
- 吉川尚彦
（埼玉県生活協同組合連合会専務理事）
- 古川泰之
（埼玉県福祉部少子政策課 副課長）
- 川越雅弘
（埼玉県立大学大学院／研究開発センター教授）

地域包括ケア推進セミナー （2018～）

【目的】地域包括ケアに関わる関係者の
実践力を高める

【2018～2019年度】

第1回（7/27開催）

「在宅医療・介護連携の展開プロセスを
学ぼう！」

第2回（11/24開催）

「ファシリテーション力を高める」

第3回（2019/2/21開催）

「自立支援のための方法論を学ぶ」

第4回（6/20開催）

「地域課題の把握方法を学ぶ」

第5回（10/2開催）

「コミュニケーション力を高めよう」

③支援体制の整備

地域包括ケアを推進するための ネットワーク会議（2018～）

【目的】地域資源の開発を通じて実践
者への支援体制を強化する

【2018～2019年度】

第1回（2018/9/4開催）

今後の進め方に関する打合せ会議

第2回（11/30開催）

「住民の困りごと/支援ニーズを知ろう」

第3回（2019/2/15開催）

「企業・組織の活動内容を知ろう①」

第4回（5/31開催）

「企業・組織の活動内容を知ろう②」

第5回（7/30開催）

「地域課題を解決するためのプロジェクトを
みんなで考えよう」

第6回（2019/12/9開催）

「通いの場・集いの場のための空きスペース・
空き家の活用法」

第7回（2020/2/18開催）

「団地の取組と課題」



②現場での直接支援

- 介護保険事業計画策定支援（北本市：計画策定業務を受託。川越市・さいたま市：委員としてデータ分析等を支援）
- 地域包括ケア関連業務支援（志木市／北本市：協定を締結し、事業展開ほかの支援を実施）
- 健康寿命の延伸に対する業務支援（加須市：協定を締結） など

2. テーマ「地域の社会資源を知ろう」を 選んだ背景・理由について

地域包括ケアから地域共生社会へ

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制

高齢者

地域包括ケアシステム

[地域医療介護確保法第2条]

【高齢者を対象にした相談機関】

地域包括支援センター

共生型
サービス

生活困窮
者支援

障害者

地域移行、地域生活支援

【障害者を対象にした相談機関】

基幹相談支援センター 等

子ども・子育て
家庭

【子ども・子育て家庭を対象にした相談機関】

地域子育て支援拠点

子育て世代包括支援センター
等

○既存の制度による解決が困難な課題

課題の複合化

- ・高齢の親と無職独身の50代の子が同居(8050)
 - ・介護と育児に同時に直面する世帯(ダブルケア) 等
- ⇒各分野の関係機関の連携が必要

制度の狭間

- ・いわゆる「ごみ屋敷」
- ・障害の疑いがあるが手帳申請を拒否 等

「必要な支援を包括的に確保する」という理念を普遍化

「必要な支援を包括的に確保する」という理念を普遍化

土台としての地域力の強化

「他人事」ではなく「我が事」と考える地域づくり

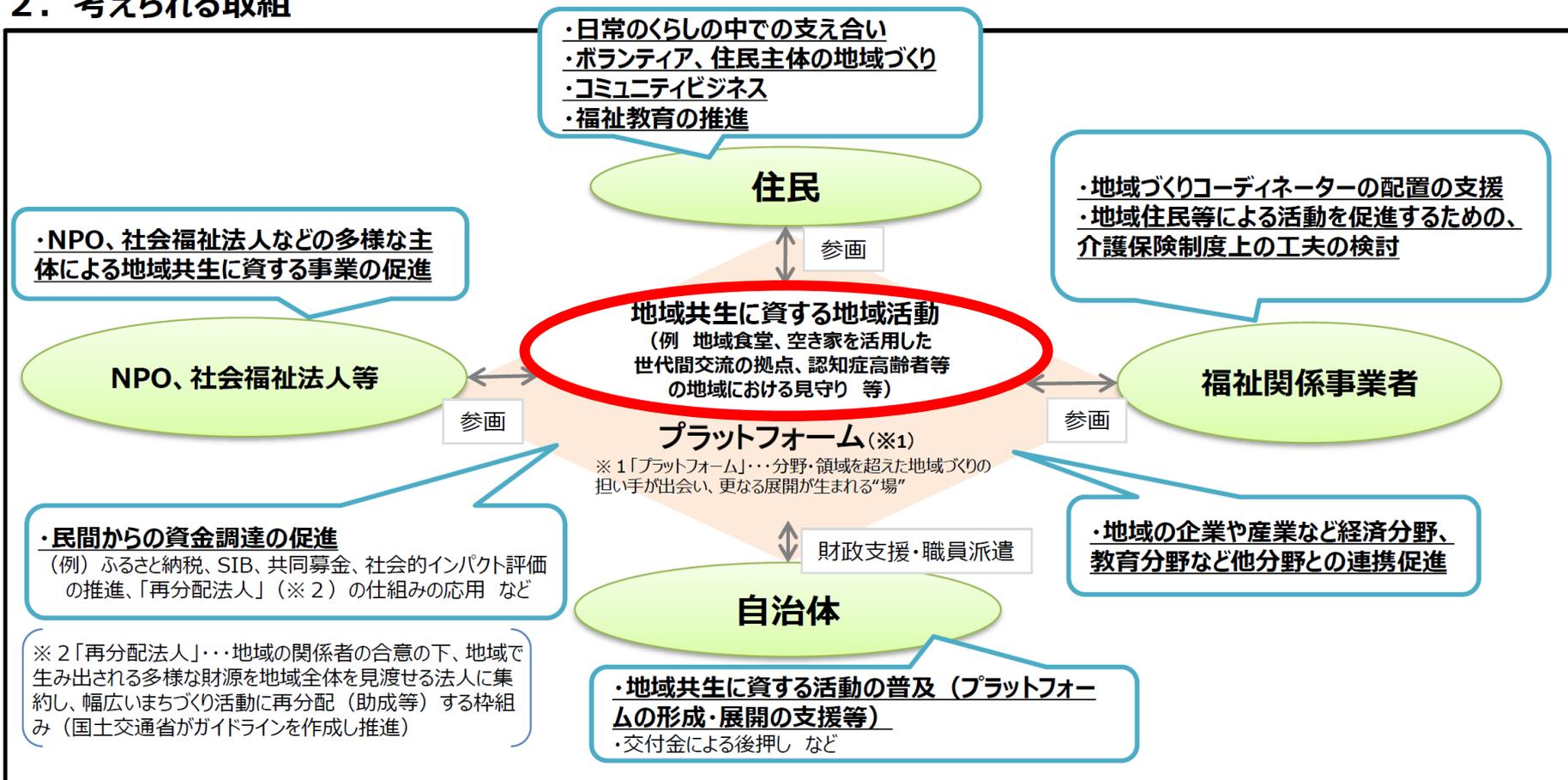
厚生労働省が目指す

「多様な担い手の参画による地域共生に資する地域活動の普及促進」

1. 概要

- 地域における重層的なセーフティネットを確保していく観点から、住民をはじめ多様な主体の参画による地域共生に資する地域活動を普及・促進。
- 地域共生に資する地域活動の多様性を踏まえ、住民などの自主性や創意工夫が最大限活かされるよう、画一的な基準は設けず、各主体に対し積極的な活動への参画を促す方策など環境整備を推進。

2. 考えられる取組



ネットワーク会議の運営状況について（2020年12月末時点）

コア会議（埼玉県全域対象）

【目的】取組状況や困りごとのヒアリングを通じて、現状把握と課題の整理、今後の対策の検討を行い、課題の解決を図っていく。

【開催日・方法】第2・第4金曜日の18時30分～，Zoomオンライン

【開催回数】2020年6月開始。合計20回開催（12月末まで）

【参加者】毎回20名程度（参加は任意）

- ・食支援関係者（フードバンク埼玉，子ども食堂／フードパントリー実践者など）
- ・その他支援者（社協，包括，ケアマネ，コーディネーター，生活困窮相談対応者など）
- ・行政（志木市など）
- ・民間（埼玉トヨペットHD，医療・福祉・環境経営支援機構など）

エリア会議（川口市）

【目的】川口市内の食支援関係者からのヒアリングを通じて、現状把握と課題の整理、今後の対策の検討を行い、川口エリアの課題の解決を図っていく。

【開催日・方法】第1・第3木曜日の18時30分～，Zoomオンライン

【開催回数】2020年8月開始。合計10回開催（12月末まで）

【参加者】毎回10名程度（参加は任意）

- ・市内の子ども食堂／フードパントリー実践者
- ・フードバンク埼玉
- ・市内の地域包括支援センター など